

カイオム・バイオサイエンス (TYO: 4583)

前年と同水準の赤字額。自社開発品2品の導出に向け治験計画を修正。PFKR（前臨床）は独占的ライセンス契約を旭化成ファーマと締結。

◇ 2024年12月期第3四半期 決算ハイライト：減収ながら前年並みの赤字額

カイオム・バイオサイエンス（以下、同社）が2024年11月12日に発表した2024年12月期第3四半期決算は、売上高は前年同期比減少したものの赤字額は前年同期並みとなった。累計ベースで売上高4.2億円（前年同期比19%減）、営業損失9.2億円（同損失9.0億円）、経常損失9.1億円（同損失9.1億円）、四半期純損失9.1億円（同損失9.1億円）である。大きなサプライズはないと見られる。

創薬事業においては、導出候補先とMTA契約（Material Transfer Agreement）に係る収入2.9百万円を7-9月期に計上する一方、臨床開発の進展により研究開発費を7.4億円計上しセグメント損失は7.4億円（同0.6億円赤字縮小）となった。

創薬支援事業では、同社独自の抗体作成手法であるADLib®システムを中心とした抗体作製技術プラットフォームを活かした抗体作製業務や抗体の親和性向上業務、タンパク質調整業務の受託を小野薬品・中外製薬などから行っており、当期には武田薬品と業務委託基本契約を、メルク社と当社サービスの販路拡大を企図する業務提携契約を締結している。しかし、新規顧客における受注案件の進捗が見られるものの、既存顧客の組織変更等の影響が継続したため売上高は4.1億円（同1.0億円減）になり、セグメント利益は2.1億円（同0.9億円減）となった。

バランスシートに関しては、現預金が前年度末比0.8億円減（残高13.2億円）、負債がCBA-1205治験薬の追加製造費用等の支払いにより未払金が減少したことなどで同1.1億円減、新株予約権の行使により純資産は同0.5億円増となっている。

決算概要は以上の通りであるが、創薬開発費用が先行するバイオベンチャーに典型的に見られる内容であり、株価への影響は限定的だと考えられる。

◇ 2024年12月期通期業績予想：創薬支援事業の通期売上高予想を6億円に修正

同社は創薬支援事業の通期売上高予想のみを開示している。同社はこの予想を従来の7.2億円から6.0億円（前年度通期実績比0.8億円減）に修正している。ただし、既存顧客との取引高には回復の兆しが見られるとのことである。

なお、後述のように11月20日に導出にかかわるライセンス契約が締結され、契約一時金2億円の受領が予定されているが、通期決算の係数についての開示はまだなされていない。

◇ 創薬事業が順調に進展

創薬事業のパイプラインのプロジェクト数は臨床中3本（自社開発2本、外部臨床試験1本）、臨床前7本であり、8月時点での開示情報と変わらない。

CBA-1205（自社開発品）：臨床第1相試験後半パートにおいて肝細胞がんに加え、メラノーマを対象にすることを決定。製品価値の最大化を目指す。

引き続き臨床第1相試験の後半パートにあり、肝細胞がん患者への投与が進んでおりその1例においてPR（部分奏功）を確認できていることは従来同様である。このためPR症例と本剤投与の科学的な関連性を解析することを目的として、治験登録患者の選定基準厳格化および治験期間の延長を決めている（従来通り）。

一方、前半パートで投与したメラノーマ患者において腫瘍縮小を伴うSD（安定）評価が続く39ヶ月以上の投与が継続しているため、メラノーマを適応症とする開発の可能性について治験責任医師とともに検討を行い、後半パートにメラノーマ患者を対象とする開発パートを追加した（今回のアップデート情報）。

これらの結果、臨床第1相試験後半パートの完了めどは2025年半ばから2025年末までに延長された。完了時期が半年程度先延ばしになるものの、導出時の製品価値を増加させるポテンシャルがあるため、ポジティブに捉えたい。

3Q決算アップデート

ヘルスケア

2024年12月4日

株価(12/4)	179円
52週高値/安値	75/304円
1日出来高(3ヶ月)	7,058.1千株
時価総額	112億円
企業価値	107億円
PER(24/12会社予想)	-倍
PBR(23/12実)	9.13倍
予想配当利回り(24/12)	-%
ROE(23/12)	-83.6%
営業利益率(23/12)	-176.6%
ベータ(5年間)	0.7
発行済株式数	62.441百万株
上市市場	東証グロース

株価パフォーマンス



%	1M%	3M%	12M%
Share price	81.82	57.89	42.86
Japan TSE TOPIX	4.13	1.38	15.57

注目点

自社開発品であるCBA-1205およびCBA-1535などの導出が成功し、2025年度までの事業目標である単年度黒字化を実現できるか、その前倒しは可能か。

その後においても、導出が継続し、これに既導出品のマイルストーン収入および創薬支援事業・バイオシミラー事業の収益貢献をあわせて、企業価値の最大化に必要な原資が潤沢になるか。

カイオム・バイオサイエンスはOmega Investment Limitedの顧客であり、同社の依頼を受けてレポートを作成しています。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。

CBA-1535（自社開発品）：臨床第1相試験前半パート（単剤パート）が進行中。単剤パートのみでの導出の可能性を見据え前半パートの延長を決定。

固形がん患者に対する単剤投与を行う臨床第1相試験が継続している。コンセプトであるT細胞の活性化を示すパラメーターに反応が見えつつあり、開発に懸念をもたらすような安全性に関する事象は生じていない（従来と変わらず）。そこで同社は単剤パートのみでの導出の可能性を見据え、前半パートを延長しデータの拡充を図ることを決定した。がん免疫療法との併用となる後半パートを自社で行う場合、その開始は従来想定2024年中から2025年に順延されることになる。今回の決定は、製品ポテンシャルの最大化と早期導出につながるものとして、ポジティブに捉えたい。

ADCT-701（米国国立がん研究所が治験主体）：臨床第1相試験続く。

小児の神経内分泌がんを対象とした臨床第1相試験が開始され、2024年7月に第1例目被験者への投与が行われた。今回の決算発表においてアップデートはない。

前臨床段階にある複数の創薬プロジェクト：PFKRを旭化成ファーマに導出。引き続き他の導出活動が進む。

2024年11月20日、同社は前臨床創薬プロジェクトの一つである「ヒト化抗CX3CR1抗体（当社プロジェクトコード：PFKR）」について、旭化成ファーマと独占的ライセンス契約を締結したとを発表した。本ライセンス契約に基づき、同社は旭化成ファーマに対してPFKRの全世界における独占的な開発、製造および販売権をサブライセンス権付きで許諾し、同社は契約一時金として2億円を受領するほか、将来的な開発および販売の進捗に応じてマイルストーンを最大で約248億円受領、さらに製品上市後には、製品の売上高に応じたロイヤルティを受領することになる。待望のライセンス決定である。

なお、他のプロジェクトにおいても、製薬企業とのDD・経済条件交渉等が進行しており、前述の通り、MTA等締結による収益を既に計上している。

◇バイオシミラー事業

同社は2024年6月18日にキッズウェル・バイオ社（以下、KWB）とバイオシミラー医薬品開発等に関する業務提携基本合意書を締結しているが、開発・販売を担う第三のパートナー企業の選定・協業交渉を開始している。

◇新株予約権の行使が進む

同社の発行済株式数は、2023年12月末52,640,200株（うち自己株式6,149株）、2024年9月末61,243,400株（うち自己株式6,149株）、2024年10月末62,441,500株（うち自己株式6,149株）、2024年11月21日時点で64,010,400株である。

◇株価動向と今後の注目点

同社の株価はゆるやかな下落トレンドにあったが、前述のPFKR導出の報を受け、出来高を伴って急騰している。

これによって新株予約権の行使が進むことも想定されるが、PFKRの導出を契機に同社のパイプライン全体のポテンシャルを前向きに再評価する展開に入りつつあるとも考えられる。つまり、契約一時金による単年度黒字化、およびその後新株予約権に過度に依存しない事業拡大へのフェーズの移行を株式市場が視野に入れることになる。

当面の注目点は、（1）自社開発品であるCBA-1205およびCBA-1535などの導出が成功するか、その経済条件は十分なものか、（2）2025年度までの事業目標である単年度黒字化を実現できるか、その前倒しは可能か、（3）創薬支援事業とバイオシミラー事業が収益をどのように底上げしていくのか、となる。

会社概要

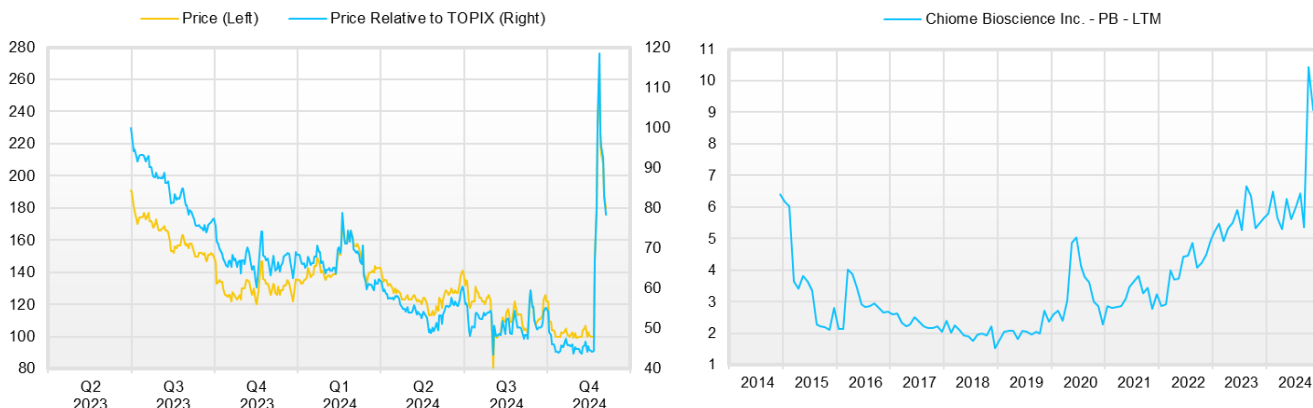
カイオム・バイオサイエンス株式会社（以下、同社）は、独自のADLib/Tribodyの技術に立脚した抗体創薬開発でアンメットニーズに応えるバイオベンチャー企業。創薬事業（アンメットニーズの高い疾患領域における抗体創薬の自社開発または共同開発を行い、その成果物である抗体に関する特許権等の知財権を製薬企業等に実施許諾し、契約一時金、マイルストーン、およびロイヤルティ等の収入を獲得していく事業）を成長の柱と据えており、10品目程度のパイプラインを抱え、うち3品目が臨床段階にあり、2024年11月には前臨床のプログラム1件をライセンスアウトした。また、これを補完する事業として創薬支援事業（主として国内製薬大手企業に対して当社の保有する抗体創薬技術プラットフォームを活用した抗体作製・抗体エンジニアリングおよびタンパク質調製を提供する高付加価値型受託研究ビジネス）で実績を築いており、さらにバイオシミラー事業への展開も開始している。

主要財務データ

単位: 百万円	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12 会社予想
売上高	448	481	713	631	682	NA
EBIT（営業利益）	-1,402	-1,284	-1,334	-1,259	-1,205	NA
税引前収益	-1,401	-1,291	-1,466	-1,238	-1,215	NA
親会社株主帰属利益	-1,404	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220	NA
現金・預金	2,106	2,686	1,791	1,727	1,326	
総資産	2,808	3,495	2,339	2,215	1,751	
債務合計	291	291	291	291	291	
純有利子負債	-1,035	-1,035	-1,035	-1,035	-1,035	
負債総額	187	385	446	425	594	
株主資本	1,158	1,158	1,158	1,158	1,158	
営業活動によるキャッシュフロー	-1,537	-1,360	-1,131	-1,191	-1,069	
設備投資額	0	0	0	0	0	
投資活動によるキャッシュフロー	-26	-4	-35	0	0	
財務活動によるキャッシュフロー	1,341	1,944	271	1,127	667	
ROA (%)	-49.79	-41.06	-50.73	-54.57	-61.51	
ROE (%)	-52.99	-45.15	-59.16	-67.48	-82.76	
EPS (円)	-44.6	-36.1	-36.7	-28.3	-24.6	
BPS (円)	78.8	78.7	46.4	37.0	22.0	
一株当り配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数(百万株)	33.28	39.51	40.31	48.42	52.19	

出所：同社資料よりOmega Investment 作成、小数点以下四捨五入

株価推移





四半期トピックス

トピックス



**CBA-1205の臨床第1相試験前半パートで登録されたメラノーマの患者さんにおいて腫瘍縮小を伴うSD（安定）評価が39ヶ月を超えて継続投与中。
⇒ CBA-1205の適応症追加を見据え、メラノーマパートの実施決定**

CBA-1535の臨床第1相試験において、コンセプトであるT細胞の活性化を示す血中バイオマーカーの変化が見え始める。安全性に関しては現時点で軽微な副作用のみ観察、開発上の懸念は無し

創薬PJについては今年度の導出契約の獲得に向け、製薬企業とのDD・経済条件交渉等が進行。MTA等締結により一部収益計上

キッズウェル・バイオ社との業務提携を通じ、新たにバイオシミラービジネスに参入。開発・販売を担う第三のパートナー企業の選定・協業交渉開始。

Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

7

出所：同社資料

2024年12月期3Q_事業進捗ハイライト



創薬事業 - 自社パイプライン

CBA-1205	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 臨床第1相試験前半パートで登録されたメラノーマ（悪性度の高い皮膚がんの一種）の患者さんで腫瘍縮小を伴うSD（安定）評価が続き39ヶ月を超えて長期継続投与中。 ✓ メラノーマ患者さんを対象とする開発パートの追加決定。
CBA-1535	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 固形がんの患者さんを対象に段階的に用量を上げながら、安全性と本剤のコンセプトであるT細胞の活性化、初期の有効性を評価中。 ✓ 現時点では軽微な副作用のみ確認され、安全性を懸念するデータは無し。
創薬PJ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前臨床段階にある複数の創薬PJの導出活動を継続。 ✓ 導出に向けて秘密保持契約下での協議、MTA評価や経済条件の交渉等を進める。 ✓ 各PJにおける研究成果を国内外の学会等で外部発表。

新規事業

バイオシミラービジネス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キッズウェル・バイオ社と業務提携契約を締結。新たな収益源の確保を目的とし、臨床・CMC関連の当社機能を用いたバイオシミラービジネス立ち上げのため、第三のパートナー企業の選定と協業交渉を開始。
--------------------	---

創薬支援事業

製薬企業等との取引	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2024年3Qの売上高は419百万円と顧客の組織変更等の影響により売上高は前年同期比を下回る。 ✓ 武田薬品工業と新たに業務委託基本契約を締結し、創薬支援サービスを実施。 ✓ メルクと新たに業務提携契約を締結し、抗体作製受託サービスの販路拡大を目指す。 ✓ 本事業の安定的な成長にむけ、新たな販路拡大に向けた協業交渉が進展。
------------------	---

Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

8

出所：同社資料

四半期トピックス

創薬事業（パイプライン）

外部臨床試験

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	治験主体
ADCT-701 (LIV-1205 ADC)	DLK-1	がん (ADC)			(NCT06041516)	米国国立がん研究所 (NCI)

★ ファーストインクラス
★★ 世界初の創薬モダリティでの臨床入り

自社開発品

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	ステータス
★ CBA-1205 (ADCC enhanced)	DLK-1	がん			(JRCT2080225288)	第1相試験中
★★ CBA-1535 (Tribody™)	5T4×CD3 ×5T4	がん			(JRCT2031210708)	第1相試験中

導出候補品及び創薬プロジェクト

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	ステータス
★ PCDC	CDCP1	がん (ADC)				導出活動中
PTRY	5T4×CD3 ×PD-L1	がん				導出に向けてデータ 取得中
BMAA	SEMA3A	腎疾患等				導出活動中
LIV-2008 /2008b	TROP-2	がん				導出活動中
PFKR	CX3CR1	自己免疫性 神経疾患等				導出活動中
PXLR	CXCL1/2/3/5	がん				導出活動中
創薬PJ/探索研究	非開示	がん/眼科 etc				—

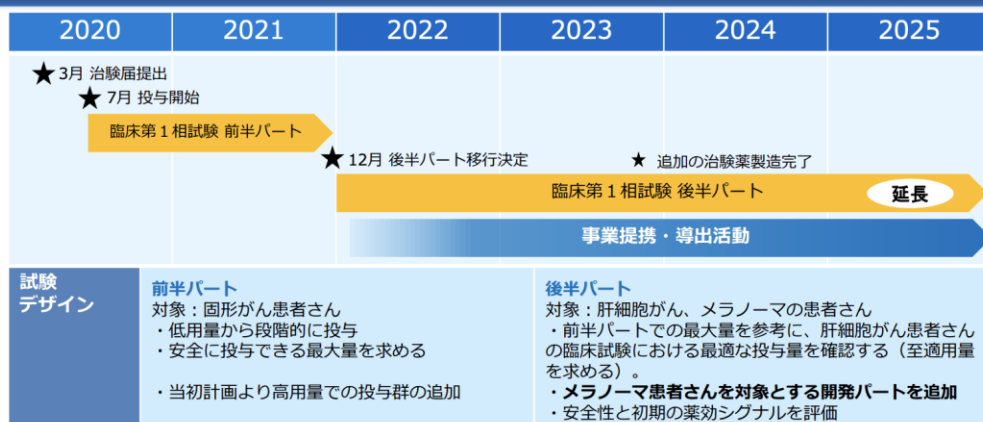
Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

2024年11月12日時点 9

出所：同社資料

CBA-1205：臨床開発

メラノーマ患者さんへの本剤投与継続期間が3年を超過
⇒メラノーマ患者さんを対象とする開発パートの追加決定



・高い安全性を確認
・メラノーマの患者さんにおいて腫瘍縮小を伴うSD（安定）評価※が続き39ヶ月以上の継続投与を確認、現在も投与継続中。

メラノーマ患者さんを対象とする開発パートの追加決定

・肝細胞がん患者さん1例においてPR（部分奏功：30%以上の腫瘍縮小）を確認。
・本剤の治療薬としてのポテンシャルを検証するため、PR症例と本剤投与の科学的な関連性を解析することを目的とし、治験登録患者さんの選定基準厳格化および治験期間の延長を決定。
・メラノーマへの適応症追加の可能性を追求し、導出時の製品価値の増大へ。

Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

出所：同社資料

10



CBA-1535 : 臨床開発



CBA-1535臨床第1相試験の前半パートが進行中



Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

出所：同社資料

2024年11月20日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
 代表者名 代表取締役社長 小林 茂
 (コード：4583 東証グロース)
 問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
 (TEL. 03-6383-3561)

当社の抗 CX3CR1 抗体に関する独占的ライセンス契約締結のお知らせ

当社は、旭化成ファーマ株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 喜和、以下「旭化成ファーマ」との間で、当社の治療用抗体「ヒト化抗 CX3CR1 抗体 (当社プロジェクトコード：PFKR)」について、本日付けで独占的ライセンス契約を締結したことをお知らせいたします。

本ライセンス契約に基づき、当社は旭化成ファーマに対して PFKR の全世界における独占的な開発、製造および販売権をサブライセンス権付きで許諾します。また本契約の締結に伴い、当社は契約一時金として2億円を受領するほか、将来的な開発および販売の進捗に応じてマイルストーンを最大で約248億円受領します。さらに製品上市後には、製品の売上高に応じたロイヤリティを受領することになります。

当社は旭化成ファーマとのライセンス契約締結により、PFKRの価値最大化、および開発・商業化のスピードアップが実現できるものと期待しております。

本契約締結により受領する契約一時金は、2024年12月期第4四半期における創業事業の売上高に計上します。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

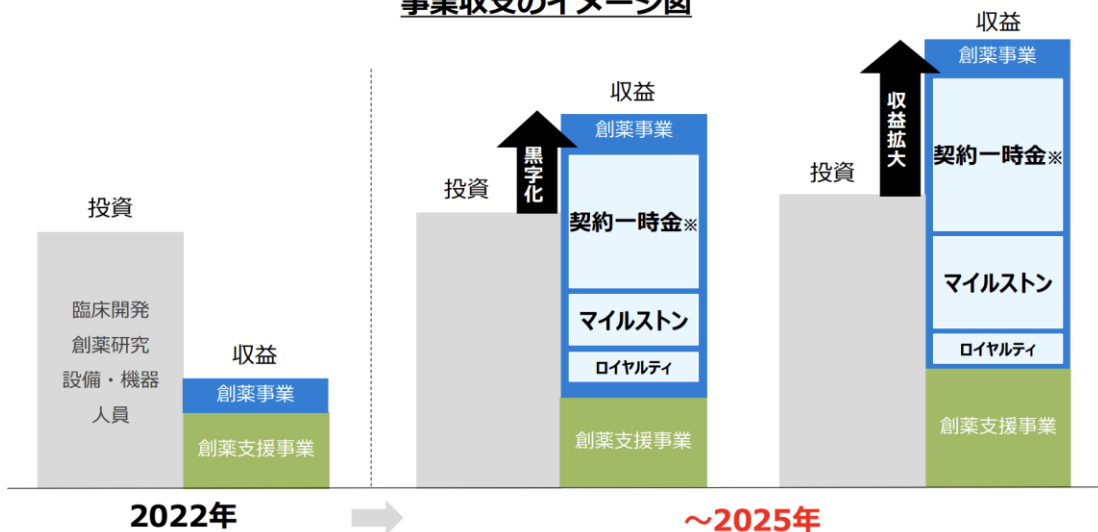
出所：同社資料

四半期トピックス

単年度黒字実現のイメージ

複数の医薬品候補の導出により投資フェーズから収益フェーズへの転換へ

事業収支のイメージ図



※CBA-1205/CBA-1535/PCDCのいずれかの導出契約を想定。以降、マイルストーンを受領する導出契約を想定しております。

本資料公表時点で実際の導出契約における導出先・各種金額等の条件は未定です。当社が想定する収益イメージを示す目的で本資料を作成しております。

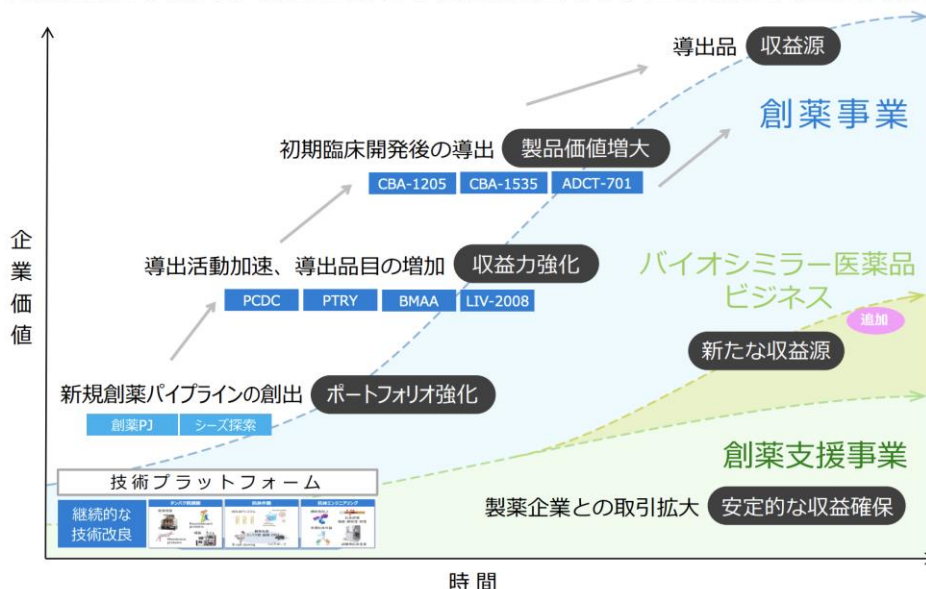
Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

17

出所：同社資料

成長戦略

アンメットニーズに対する抗体医薬品候補を複数創製し、製品価値の増大や導出による事業化に注力し、企業価値向上を目指す



Copyright © 2024 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

26

出所：同社資料

財務データ | (四半期ベース)

単位: 百万円	2022/12期		2023/12期				2024/12期		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
[損益計算書]									
売上高	155	197	169	189	165	158	130	134	159
前年同期比	-0.8%	15.1%	31.8%	26.6%	6.2%	-19.6%	-23.5%	-29.2%	-3.8%
売上原価	72	83	73	77	67	67	73	56	74
売上総利益	84	114	96	113	98	92	57	78	85
粗利率	53.9%	57.8%	56.6%	59.5%	59.6%	57.8%	44.0%	58.0%	53.4%
販管費	344	333	322	546	344	391	379	337	425
EBIT (営業利益)	-260	-219	-226	-433	-246	-300	-322	-259	-340
前年同期比	-40.3%	-54.6%	-53.5%	48.0%	-5.4%	36.7%	42.6%	-40.2%	38.1%
EBITマージン	-167.3%	-111.3%	-133.4%	-228.6%	-149.0%	-189.3%	-248.5%	-193.1%	-213.9%
EBITDA	-260	-219	-226	-433	-246	-300	-322	-259	-340
税引前収益	-255	-214	-226	-435	-254	-300	-303	-259	-351
当期利益	-257	-215	-228	-436	-255	-302	-304	-260	-352
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	-257	-215	-228	-436	-255	-302	-304	-260	-352
前年同期比	-40.9%	-66.2%	-53.8%	56.5%	-0.7%	40.1%	33.5%	-40.4%	38.0%
利益率	-165.0%	-109.2%	-134.4%	-230.1%	-154.3%	-190.3%	-234.5%	-193.9%	-221.2%
[貸借対照表]									
現金・預金	1,592	1,727	1,566	1,245	1,342	1,326	1,325	1,104	1,241
総資産	2,081	2,215	2,086	1,686	1,753	1,751	1,754	1,557	1,694
債務合計	188	184	301	298	316	291	314	292	303
純有利子負債	-1,404	-1,543	-1,265	-947	-1,026	-1,035	-1,012	-812	-938
負債総額	431	425	524	541	542	594	506	487	478
株主資本	1,650	1,791	1,562	1,145	1,211	1,158	1,248	1,071	1,216
[収益率 %]									
ROA	-66.16	-54.57	-46.44	-62.98	-59.13	-61.51	-67.53	-69.09	-70.61
ROE	-81.62	-67.48	-60.83	-86.66	-79.25	-82.76	-92.28	-101.15	-100.30
[一株当り指標: 円]									
EPS	-5.8	-4.6	-4.7	-9.0	-5.2	-5.8	-5.6	-4.6	-6.1
BPS	35.9	37.0	32.3	23.6	23.9	22.0	22.4	19.0	19.9
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数 (百万株)	45.23	48.42	48.42	48.50	50.01	52.19	55.40	56.39	61.24

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ II (通期ベース)

(単位：百万円)

単位: 百万円	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期
[損益計算書]										
売上高	370	280	252	260	213	448	481	713	631	682
前年同期比	-	-24.4%	-10.0%	3.0%	-18.1%	110.3%	7.4%	48.3%	-11.5%	8.2%
売上原価	119	225	228	94	107	167	238	292	283	285
売上総利益	252	55	25	166	106	281	243	421	348	398
粗利率	67.9%	19.8%	9.7%	64.0%	49.6%	62.7%	50.5%	59.0%	55.1%	58.3%
販管費	1,406	1,325	1,067	1,054	1,645	1,683	1,526	1,755	1,606	1,603
EBIT (営業利益)	-1,154	-1,270	-1,042	-888	-1,539	-1,402	-1,284	-1,334	-1,259	-1,205
前年同期比	-	10.0%	-17.9%	-14.8%	73.4%	-8.9%	-8.4%	3.9%	-5.7%	-4.2%
EBITマージン	-311.6%	-453.4%	-413.3%	-341.6%	-723.1%	-313.2%	-266.9%	-187.2%	-199.5%	-176.6%
EBITDA	-1,046	-1,168	-929	-877	-1,532	-1,397	-1,280	-1,331	-1,257	-1,204
税引前収益	-1,180	-1,281	-1,501	-880	-1,531	-1,401	-1,291	-1,466	-1,238	-1,215
当期利益	-1,180	-1,283	-1,491	-883	-1,534	-1,404	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220
少数株主損益	-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	-1,150	-1,283	-1,491	-883	-1,534	-1,404	-1,294	-1,480	-1,243	-1,220
前年同期比	-	11.5%	16.3%	-40.8%	73.8%	-8.5%	-7.8%	14.4%	-16.0%	-1.8%
利益率	-310.6%	-457.9%	-591.2%	-339.6%	-720.5%	-313.6%	-269.1%	-207.6%	-197.0%	-178.8%
[貸借対照表]										
現金・預金	5,576	4,100	4,553	4,027	2,329	2,106	2,686	1,791	1,727	1,326
総資産	6,257	4,919	4,789	4,419	2,831	2,808	3,495	2,339	2,215	1,751
債務合計	0	100	54	4	0	0	180	183	184	291
純有利子負債	-5,576	-4,000	-4,499	-4,023	-2,329	-2,106	-2,506	-1,608	-1,543	-1,035
負債総額	418	355	224	202	154	187	385	446	425	594
株主資本	5,828	4,564	4,565	4,218	2,677	2,622	3,110	1,893	1,791	1,158
[キャッシュフロー計算書]										
営業活動によるキャッシュフロー	-789	-1,245	-970	-867	-1,689	-1,537	-1,360	-1,131	-1,191	-1,069
設備投資額	119	168	11	5	0	0	0	0	0	0
投資活動によるキャッシュフロー	-619	-1,780	1,989	-137	0	-26	-4	-35	0	0
財務活動によるキャッシュフロー	2,131	124	1,434	479	-10	1,341	1,944	271	1,127	667
[収益率 %]										
ROA	-30.46	-22.95	-30.72	-19.17	-42.30	-49.79	-41.06	-50.73	-54.57	-61.51
ROE	-33.51	-24.69	-32.67	-20.10	-44.49	-52.99	-45.15	-59.16	-67.48	-82.76
[一株当り指標: 円]										
EPS	-	-58.3	-65.9	-33.5	-57.3	-44.6	-36.1	-36.7	-28.3	-24.6
BPS	265.6	207.0	179.3	157.5	99.9	78.8	78.7	46.4	37.0	22.0
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数 (百万株)	21.93	22.05	25.31	26.78	26.78	33.28	39.51	40.31	48.42	52.19

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの Recherche によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。